

単収・食味UP運動展開中！！
～ 米生産技術の基本に立ち返りましょう～
単収、食味を確保・向上させるには、早期に有効分げつを確保することが重要です。

今月のポイント

① 水管理：初期生育を確保するため、天候に応じた水管理をしましょう。(活着・分げつ促進)
② 一発除草剤の効果的な使用：使用する一発除草剤を確認し、使用方法に基づき散布しましょう。
③ 中期除草剤の適正使用：中期除草剤は、使用方法に基づき散布しましょう。
④ カメムシ対策：カメムシの発生抑制のため、畦畔等の草刈りはこまめに行いましょう。

【令和3年産米の水管理・除草期間の反省点】
内容：ガスが湧いているようだ。
対策：稲わらの腐熟が緩慢であったり、有機物を多投していると発生しやすくなります。ガスは、根の活力を低下させますので、十分な窒素成分を施用していても、葉色が落ちることがあります。水の入れ替えで対処しましょう。

1か月予報（4/30～5/27までの天候見通し） 令和4年 4月28日発表

	コメント	気温	降水量
1週目 (4/30～5/6)	天気は数日の周期で変わります。	低い	ほぼ平年並
2週目 (5/7～13)	天気は数日の周期で変わりますが、気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	平年並～高い	
3～4週目 (5/14～27)	天気は数日の周期で変わります。	平年並～高い	

水管理 **ポイント①**：初期生育を確保するため、天候に応じた水管理を行いましょう。

1. 移植後の水管理

① 生育状況や天候に応じた水管理を行いましょう。

1) **活着するまでは**、植え傷み等による葉面からの蒸散を防ぐため、深水管理（葉が2～3cm出る程度）としましょう。※活着の目安は、葉と茎を引いても抜けない状態です。

2) **活着後の晴れの日**は田面が露出しない2～3cm程度の浅水とし、地温の水温上昇を促し、分げつ促進に努めましょう。

また、最高気温15℃以下の寒い日や風の強い日は5cm程度の深水管理とし稲体を保護しましょう。

② **昼間止水、夜間灌漑**により生育の促進を行いましょう。
水引きの時間帯は気温と水温の差が少ない夕方から早朝に行い、日中は水を動かさないようにしましょう。

③ **低温時の注意点**：低温が続く場合、時期にかかわらず深水管理とし稲体を保護しましょう。

2. 水の入れ換えが必要な水田（水の入れ替えはしっかり落水してから行う）

① 青カナなどの藻類が多発する。(有機物の多投、水温20℃前後、少雨で気温が高い)
※水の入れ換えでは改善できない場合は、「モゲトン粒剤」を散布しましょう（特別栽培米では使用できませんので注意してください）。

② 稲わらや堆肥などの有機物を多投した。転作田を復元した。(ガス湧きが発生)
③ 水持ちが良いために根腐れが発生する。

天候に応じたこまめな水管理により、早期に有効分げつを確保する事が、収量アップのポイントです！

水を入れ替えても藻類が抑えられない場合は、次年度の耕種概要等を見直しましょう。

3. 稲の生育ステージに応じた水管理の目安
稲の生育ステージに合わせ、暖かい日は浅水管理により生育（分げつ）の促進を図り、寒い日は深水管理により稲を低温から守りましょう。

生育ステージ	平年の時期	水位	
		浅水	深水
田植え～活着まで	田植え後3～4日	葉先が2～3cm出る程度	
活着期	活着後5日程度	2～3cm	5cm程度
分げつ期	田植え後1週間程度～6月24日頃まで (株当たり25本以上を目標)	3～5cm	7～10cm
中干し	6月21日～25日頃から7月10日頃 (有効分げつが確保できたら実施)	0cm	
幼穂形成期	7月11日頃～7月20日頃	3～5cm	10～15cm
減数分裂期	7月20日頃～7月30日頃		15cm以上

※中干し時期は、みどりの食料システム戦略の取り組みによって例年より早まっています。植え直しについて **植え直しが必要な水田と、植え直しの弊害**

欠株や一本植えの株が生じて、隣の株が大きくなる場合が多く、水田全体では茎数の密度が調整されて収量にはほとんど影響しません。連続で5株以上欠株した場合を除き、植え直しの必要はありません。
除草剤を散布した後に、植え直しのため水田に入ると**除草剤の処理層が壊れてしまい、雑草の発生を助長させる原因となりますので、植え直しはしないようにしましょう。**

除草剤 **ポイント②**：使用する一発除草剤を確認し、使用方法に基づき散布しましょう。

一発除草剤 { 特別栽培米⇒「キマリテ」
ふるさと純情米⇒「アツパレZ」「ベッカク」「流星」「ライジンパワー」等

1. 一発除草剤の使用方法について

1) **気温が高いと、ノビエなどの葉齢進展が早くなることから早めに散布しましょう。**
2) **代掻き後の日数とノビエの葉齢を確認し、適期に除草剤の散布を行いましょう。**
3) **散布後は、有効成分が土壌表面に吸着し、処理層を形成するまで、少なくとも1週間程度は湛水状態を保ってください。**

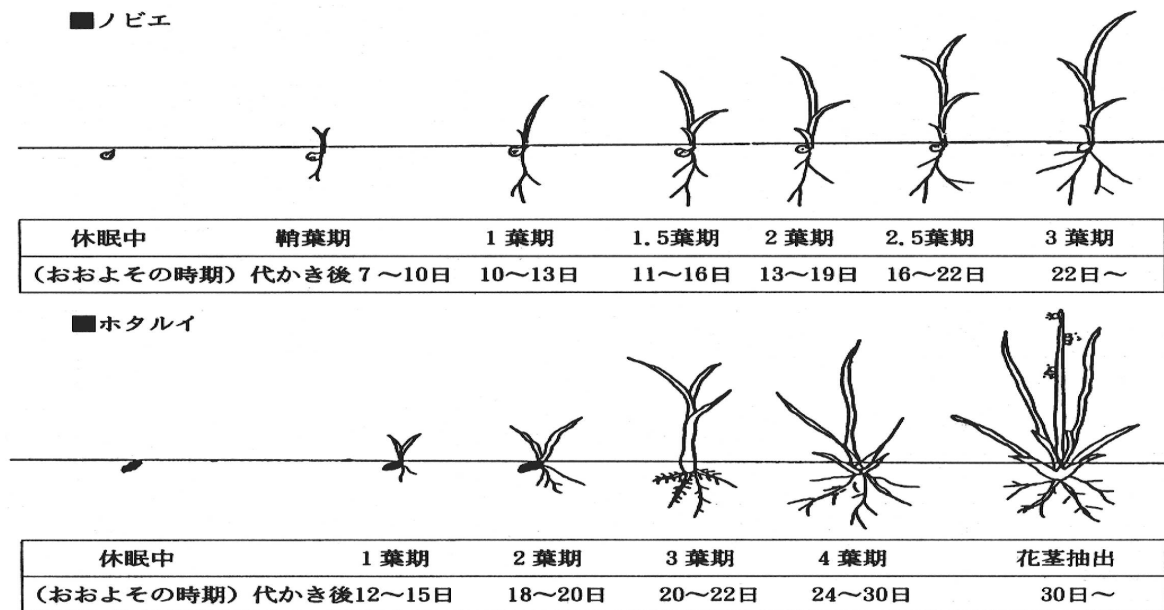
商品名	剤型	10aあたり使用量	使用時期	使用方法	水深
アツパレZ	1 ^{kg} 粒剤	1kg(1袋)	移植直後～ノビエ3葉期 ただし移植後30日まで	湛水散布 ※田植同時処理可能	5cm以上
	フロアブル	500ml(1本)		湛水散布 ※水口施用可能	5cm以上
	ジャンボ	400g (小包装(パック)10個)	移植後3日～ノビエ3葉期 ただし移植後30日まで	湛水散布 (小包装のまま投入)	10cm以上
	400FG	400g (1袋4kg入:1ha分)		湛水散布、 湛水周縁散布又は 無人航空機散布	5cm～ 10cm

※その他、特別栽培米・ふるさと純情米で使用できる除草剤については、「春肥料施肥設計指導会資料（水色の冊子）」をご覧ください。また、使用方法等についてはラベルを参考にしてください。

除草剤は、使用上の注意をよく読んでから、適期に散布しましょう！！

令和4年度農作業安全運動スローガン「農作業 ゆとりと声かけ 二刀流」

2. 一発除草剤の有効な活用方法



- ① 漏水田・砂壌土の場合は、粒剤の散布をお勧めします。※漏水田の場合は、畦畔の補修を事前に実施しましょう。
 - ② **代掻きからの日数や雑草の発生状況を考慮し、代掻き後10日以内に散布しましょう。**
 - ③ 藻類が発生した圃場は、除草剤が拡散しにくくなるので、早めの散布を心がけましょう。
 - ④ **散布の際は5~10㎝程度の湛水で行い、散布後1週間程度は農薬が流出しないよう止水としましょう。**
 - ⑤ 中干し時期までは、湛水状態を保ち田面を露出させない水管理をしましょう。
 - ⑥ 除草剤散布後は、除草剤の処理層が壊れてしまうため、本田に入らないようにしましょう。
- ※田植え同時処理後は、効果を発揮させ、薬害を防止するために、速やかに入水をお願いします。

3. 中期除草剤の使用方法について

ポイント③：中期除草剤は、使用方法に基づき散布しましょう

※特別栽培米は「バサグラン」のみの使用となります(ノビエには効果がありません)。

中期除草剤：特別栽培米⇒「バサグラン」 ふるさと純情米⇒「レブラス」「クリンチャーバスME」等
※中期除草剤は雑草の取りこぼしがあった場合に使用しましょう。

	商品名	剤型	主な対象雑草	使用時期	10a当り 使用量
湛水散布	レブラス	1 ^キ 粒剤	水田一年生雑草、ホタルイ、オモダカ、クログワイ、シズイ等	移植後14日~ノビエ4葉期 ただし、収穫60日前まで	1kg
		ジャンボ			10個 (400g)
落水散布	クリンチャーバスME	液剤	水田一年生雑草、ホタルイ、オモダカ、クログワイ、シズイ等	移植後15日~ノビエ5葉期 ただし、収穫50日前まで (落水散布又はごく浅く湛水して散布)	1000ml (希釈水量: 70~100ℓ)
	バサグラン	粒剤			水田一年生雑草(イネ科を除く) ホタルイ、オモダカ、クログワイ、シズイ等 ※クログワイは草丈15cm以下、シズイは20cm以下で使用
液剤		500~700ml (希釈水量: 70~100ℓ)			

【中期除草剤の注意事項】

- ① 「レブラス」及び「クリンチャーバスME」はふるさと純情米で使用できます。
- ② 雑草の発生状況に応じて、早めに散布しましょう。
- ③ 「クリンチャーバスME」と「バサグラン」は、落水(足跡に水が残る程度)状態で、散布しましょう。
- ④ 水口・水尻を止め、均一に散布しましょう。
- ⑤ 雨が降っても、散布後7日間は落水しないようにしましょう。
- ⑥ 「クリンチャーバスME」と「バサグラン」は、散布後、2日以内の雨は効果が劣る恐れがあるので、好天が続く時に行いましょう。

病害虫防除

1. 葉いもち防除

- ① 植え直し用の取り置き苗は、**葉いもちの発生原因となります。**
圃場内に放置せず速やかに埋没するなど処分をしましょう。
- ② 前年いもち病が多発した圃場、多肥や復元田などで稲の生育が旺盛な圃場は、いもち病が発生しやすいので、圃場をよく観察しましょう。

2. カメムシ対策 ポイント④：カメムシ抑制のため、畦畔等の草刈りはこまめに行いましょう。

畦畔等のイネ科雑草を出穂させないことで、カメムシの発生密度を低減させることができます。カメムシ抑制対策として、畦畔・農道・法面等の草刈りを**5月25日頃まで**に行いましょう。また、水田内にイネ科雑草があると、カメムシの発生源となりますので中後期除草剤で雑草防除を行いましょう。

カメムシ越冬世代のふ化盛期が今後の天候によっては早まることが予想されます。
ふ化盛期を目安に地域全体で草刈りを行い、カメムシの発生密度低減に努めましょう。
◀ふ化盛期▶ 江刺地点 昨年：5月26日 平年：5月26日

その他

参考：水沢地域、展示圃「ひとめぼれ」平年値(6月5日) ※田植え平年値：5月10日 1株：5本植え
※平年値とは、過去5年間の値を平均したものです。

	草丈 (cm)	茎数/株 (本)	葉齢 (葉)
平年値 (目標値)	27.8	9.7	6.9

■水稲の栽培、農業使用等に関するお問い合わせは…

「営農アドバイザー携帯電話」 090-4478-9921(阿部) 090-4478-9924(佐藤) 090-4478-9922(青木)
「水沢地域センター営農経済課」 24-5106

■生産資材・生活資材のご注文・配達…

「拠点配送センター」 **0120-516-911 (フリーダイヤル)**

■生産資材等の直取り・窓口供給は…

「水沢資材センター」 **26-2112**

平日営業時間：午前8:30~午後5:00

休日営業時間：4月~5月 毎週土曜・日曜日 午前8:30~正午

6月~10月 毎週土曜日 午前8:30~正午

※期間を通し祝日は休業です。



LINEにて営農情報を発信中です!
上記QRコードからお友達登録をお願いします。

生産履歴(作業内容・農薬名・肥料名・散布日・使用量など)の記帳を忘れずに行いましょう!